



教員紹介

経営学部

松本 美紀 MATSUMOTO Miki

| | |
|-------------|---|
| 職位 | 講師 |
| 最終学歴 | 名古屋外国語大学大学院 国際コミュニケーション研究科 博士後期課程 日本語学・日本語教育学 単位取得満期退学 |
| 職歴 | 韓国 釜山外国語大学校 日本語学科、中国 東北育才中日友好分校 日本語教師 企業内外国人社員向け日本語研修 講師 名古屋外国語大学 日本語教育センター/アカデミック・スキル科目担当、愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科 他 非常勤講師 名古屋大学 とよた日本語学習支援システム事務局 2020年4月より現職 |
| 学位 | 日本語教育学修士 |
| 資格（免許）、認定 | 地域日本語教育コーディネーター〔文化庁〕 国家資格 キャリアコンサルタント CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー） 愛玩動物飼養管理士 1級 |
| 担当科目（学部） | 日本語スピーチ / 日本語論文 / ビジネス日本語 / 異文化理解演習 D（日本） / 自分づくりゼミ |
| 担当科目（大学院） | |
| 担当科目（留学生別科） | 日本語（漢字・語彙） / 日本事情 B（日本の地理・歴史） |
| 学生へのメッセージ | みなさんの夢は何ですか？ 将来どんなことをしたいですか？ 私の大学時代は、夢を実現させるため、多くを学び、多くのことに挑戦することができたとても貴重な時間でした。 みなさんもこの星城大学で、「夢への挑戦」の一步を、共にふみだしましょう。 留学生の日本語教育を担当します。 留学生のみなさん、将来、日本語を使って活躍できる人材となれるよう一緒にがんばりましょう！ |
| 研究内容 | 地域日本語教育の実践と人材育成 多文化共生のまちづくり 初年次教育におけるアクティブ・ラーニングの活用 アカデミック・スキル養成 |
| 研究分野キーワード | 日本語教育/地域日本語教育/多文化共生/外国人住民 初年次教育/アカデミック・スキルの養成/キャリア形成支援 |

| | |
|------|--|
| URL | |
| 著書 | |
| 論文 | <p>鈴木崇夫・松本美紀 「『用語の定義を調べる』過程のふりかえりから自律的学修を促す初年次教育の試みーアクティブラーニングの効果に着目してー」 『愛知淑徳大学 初年次教育研究年報』第7号 pp.11-13 2022年</p> |
| 学会発表 | <p>1) 内山喜代成・村田竜樹・松本美紀・梶原彩子「ベテランボランティアは日本語支援ボランティア養成講座への大学生の参加をどう意味づけたか」2021年度日本語教育学会春季大会（2021年5月22日・23日 オンライン開催）</p> <p>2) 伊藤春子・松本美紀「コロナ禍におけるオンライン授業に対する外国人留学生の評価と課題ー経営学部に在籍する外国人留学生への意識・実態調査からー」日本語教育学会2020年度関東支部集会（2021年3月5日 オンライン開催）</p> <p>3) 内山喜代成・梶原彩子・松本美紀「日本語支援ボランティア養成講座のあり方を再考するー養成講座参加者の日本語支援ボランティア・養成講座に対する意味づけからー」言語文化教育研究学会 第6回年次大会（2020年3月）</p> <p>4) 鈴木崇夫・松本美紀「アクティブラーニングによる『用語の定義を調べる』過程のふりかえりから自律的学習を促す初年次教育クラスの試み」日本リメディアル教育学会第15回全国大会（2019年8月 金沢工業大学）</p> <p>5) 鈴木崇夫・松本美紀「レポート作成過程における文献・資料選択の質を高める実践ーアクティブラーニングを活用した大学生のアカデミック・スキルの養成ー」日本リメディアル教育学会 第14回全国大会（2018年8月 創価大学）</p> <p>6) 松本美紀・鈴木崇夫「アクティブラーニング活動によるノートテイキングの効果的指導法の提案ー4つの視点に着目した『よいノートとは?』の実践からー」日本リメディアル教育学会 第14回全国大会（2018年8月 創価大学）</p> <p>7) 鈴木崇夫・松本美紀・磯村美智子「愛知県H地区における外国人家庭の言語継承の実態」〈ポスター発表〉日本言語政策学会第18回大会（2016年6月 大東文化大学）</p> <p>8) 小川靖子・松本美紀「地域日本語ボランティア養成講座における主催者(企画者)と受講者の気づきーアンケート調査報告を中心にー」第56回韓国日本語教育学会、第19回韓日日語日文学会連合学術発表大会（2013年9月 韓国 釜山外国語大学校）</p> <p>9) 松本美紀「『上』関連表現における意味構造モデル構築の試み」日本語教育学会世界大会2008、第7回日本語教育国際研究大会（2008年7月 韓国 釜山外国語大学校）</p> <p>10) 鈴木美紀「国広『現象素』における『上』関連表現への応用と分析ー『上がる』への応用とその有効性の検証ー」韓国日本語文学 2006年度分科学術大会（2006年4月 韓国 国立順天大学校）</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>11) 鈴木美紀・小川靖子「母語を共通とした学習者間インターアクション」韓国日本語教育学 第43回学術発表大会（2005年10月 韓国 慶尚大学校）</p> <p>12) 鈴木美紀「名詞用法『上』における多義的意味を統括するモデル構築への試みーラネカーのネットワークモデルへの応用とその有効性ー」韓国日本語学会 第11回学術発表会（2005年3月 韓国 祥明大学校）</p> <p>13) 鈴木美紀「日本語における上(下)メタファーの分類」韓国日本文化学会春季国際学術学会（2003年3月 韓国 ハンバツ大学校）</p> |
| <p>社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)</p> | <p>【所属学会】</p> <p>1) 日本語教育学会 2) 日本リメディアル教育学会</p> <p>【地域活動・講座・国際交流】</p> <p>1) 多文化共生ひがしうら 日本語教育コーディネーター 2) 東浦町委託事業「日本語支援ボランティア養成講座」、「共に学ぶ多文化共生講座」コーディネーター</p> <p>その他、様々な多文化共生関連活動に携わる</p> |
| <p>その他</p> | |